

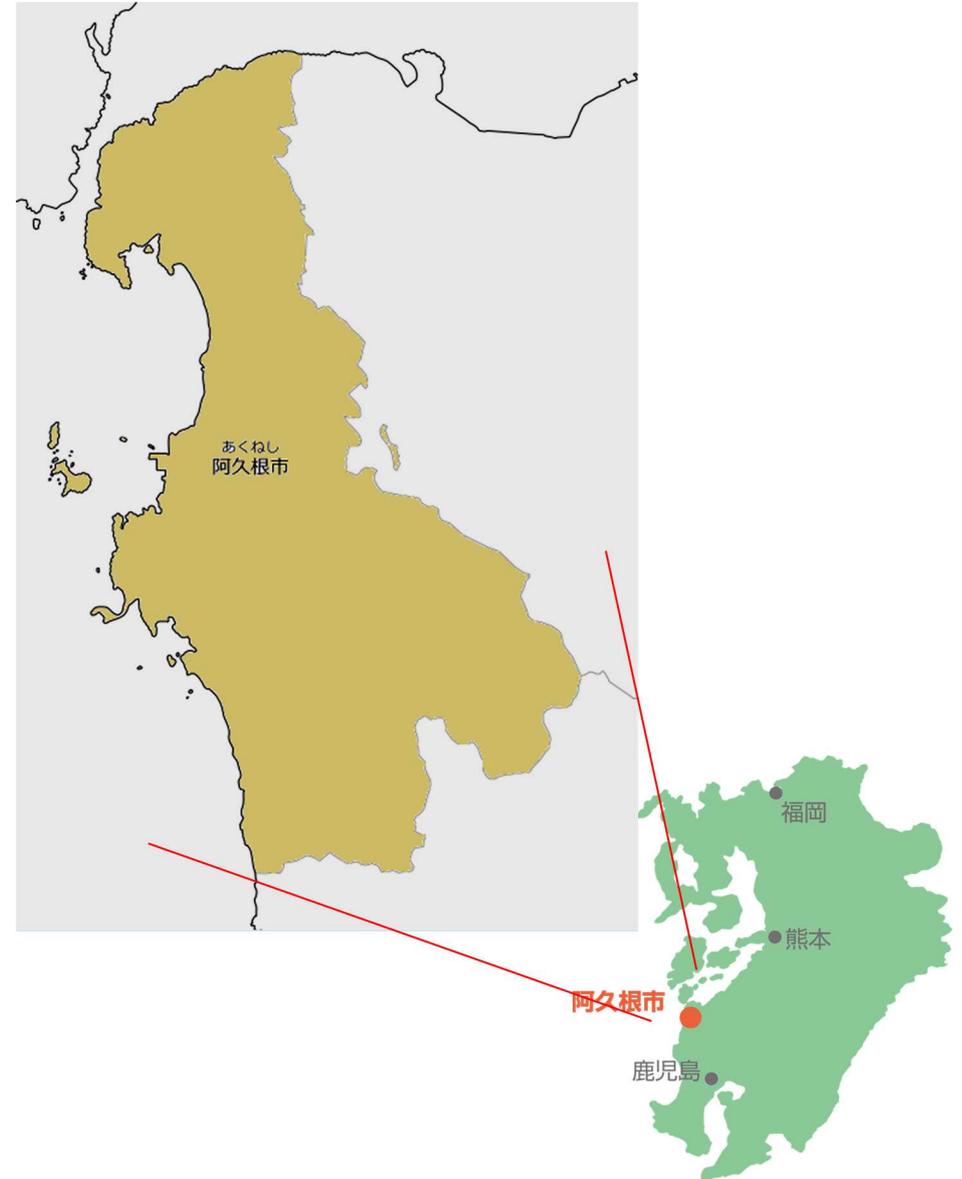
地域内再生可能エネルギー活用モデル構築事業に関する
包括連携協定
オンライン記者発表会見

アクネ うまいネ 自然だネ



阿久根市について

- ・鹿児島県の北西部に位置し、
東西 11.1km、
南北 22.4km と
南北に細長い形状をしており、
海岸線の総延長は約40km
- ・江戸時代には薩摩藩の貿易港として発展するなど、古くから海・陸交通の要衝として、海運業・商業などが栄えたまち
- ・人口：19,505人
(令和3年8月1日現在)



～食のまち阿久根～

■豊富な「海の幸」



下園薩男商店
「旅する丸干し」
平成26年度
農林水産祭
「天皇杯」受賞

■鹿児島が誇る 「華鶴和牛」



■温暖な気候が育む 「柑橘類」



ボンタン



だいまさき
デコポン(大将季)

～豊かな自然環境～

■阿久根大島



- ・環境省指定「快水浴場百選」県内3か所のひとつ
- ・宿泊施設やマリンスポーツも充実
- ・野生のシカも出迎える

■脇本海水浴場



- ・水質AA、「快水浴場百選」
- ・毎年ウミガメが産卵
- ・季節を問わず県内外のサーファーが訪れる

～過去の大雨等による被害～

■平成18(2006)年7月 県北部豪雨災害 【被害総額1,899,502千円】

重傷1名，住家全壊2棟，半壊1棟，一部破損7棟，床上浸水14棟，床下浸水118棟，
非住家全壊2棟，一部破損4棟，床上浸水11棟，床下浸水20棟，がけ崩れ7箇所，
通行止め47箇所，片側通行15箇所，断水627戸1,391人，土木関係被害545件，
農作物等被害112.4haほか，林務水産関係42件，商工関係被害15件，教育関係被害7件，
その他4件

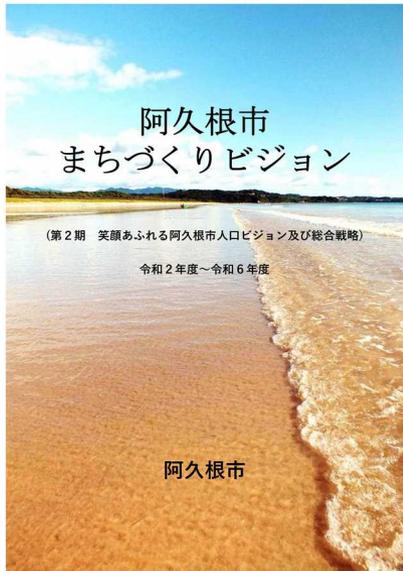
■平成27(2015)年8月 台風15号 【被害総額67,014千円】

住家半壊1棟，一部破損104棟，非住家損壊24棟，
避難状況109世帯160人，市道崩土路肩決壊等19件，
倒木124件，市営住宅破損等47件，
農政関係被害17件ほか，林道倒木6件ほか，
阿久根大島倒木100本，商工観光関係被害33件，
教育関係被害27件，水道施設14件，
停電9,400戸(ピーク時)



倒木被害(阿久根大島)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 世界を変えるための17の目標



阿久根市まちづくりビジョン

【基本目標・基本政策】

- ① 地域の資源を生かした「にぎわい」のあるまち
 - ・農林水産業の振興
 - ・商工業の振興と雇用の確保
- ② 地域の魅力が広がる「つながり」のあるまち
 - ・観光の振興
 - ・定住と交流の促進
- ③ 支え合い生き生きと暮らせる穏やかなまち
 - ・健康の増進と地域医療の充実
 - ・子育て支援の充実
 - ・高齢者福祉と障がい者福祉の充実
 - ・地域福祉の充実と社会保障制度の適正運営
- ④ 快適・安全で潤いとやすらぎのあるまち
 - ・環境の保全
 - ・暮らしを支える生活基盤の形成
 - ・消防・防災対策の充実
 - ・生活の安心・安全の向上
- ⑤ 豊かな心が育まれ文化の薫るまち
 - ・人材の育成
 - ・生涯学習の推進と社会教育の充実
 - ・文化の振興とスポーツの推進
- ⑥ 協働・連携で明るい未来を開くまち
 - ・市民参加と地域コミュニティの活性化
 - ・人権の尊重と男女共同参画の推進
 - ・適正な行財政運営

阿久根市まちづくりビジョン 基本目標4 「快適・安全で潤いとやすらぎのあるまち」



再生可能エネルギーの
導入を進め

地域資源を最大限活用した持続可能な 自立循環型社会の構築を目指す

阿久根市まちづくりビジョン 基本目標4 「快適・安全で潤いとやすらぎのあるまち」

基本施策 「防災対策の充実」

地震や台風，大雨などによる大規模，また激甚化する災害が全国的に発生している中，災害に強いまちづくりや地域防災計画の見直しによる防災体制の整備，防災力の向上が求められている。

阿久根市

自立循環型社会の構築

防災力の向上

地域の脱炭素化

株式会社
トラストバンク

合同会社
トラストバンク阿久根

自立循環型社会の構築

・・・エネルギーの地産地消

防災力の向上

・・・災害に強いまちづくり

地域の脱炭素化

・・・再生可能エネルギーの導入加速

今回の取組

今回の取組は脱炭素社会の構築への
重要な一歩



公共施設への再エネ導入
公用車へのEV導入 など

**2050年までに二酸化炭素の排出を
実質ゼロにすることを目指す**

「ゼロカーボンシティ宣言」

ご清聴ありがとうございました。

